

中区 区域まちづくり事業 事業概要

事業名称	現在からそして未来へ「いのち♡ありがとう」プロジェクト
事業目的	中区地域計画の「こどもの健やかな学び・育ちの確保」などをめざし、次のことに取り組む。 ○若年出産した保護者や多胎児の保護者が、地域とつながりを持ち子育てに自信を持てるよう子育て支援を強化する。 ①若年出産した保護者の交流の機会を設ける。 ②多胎児の保護者の交流の機会を設ける。 ○関係機関と連携して、いのちの大切さを伝える。
事業内容	小中学校の児童・生徒に対する性教育の一環として、「いのちの健康教育」を学校が円滑に実施できるよう、継続して協力を行う。若年の保護者に対しては、地域の見守りと併せて、子育てに関する正確な情報を伝えていく。中区内の小・中学校・地域等と連携し、自分が価値ある存在であると感じ自分らしく生きていけるように、いのちの大切さを伝え、自尊感情を高める。また、自分も相手も大切にできる関係構築が必要なことを伝え、保護者や教職員にも日々の生活の中で伝えてもらう。 ○こどもたちにいのちの大切さを伝える取組は、学校で定着してきている。そのため保健センターは、この取組が継続できるように、さまざまな機会側面支援を行う。 ○若年出産した保護者への支援 年4回の教室開催(baby∞star) 保護者自身が楽しみながら参加できる内容とし、保護者間の交流を進めながら、地域子育て支援関係者と関係を構築する。 ○多胎児の保護者を対象に年4回の教室開催(ツインエンジェルス) 保護者間の交流の機会を設け、子育ての悩みの解消や保護者の精神的な支援を図る。 ○「大切な赤ちゃんの命を守る5つの約束」「乳幼児を事故から守る心得」のリーフレットを作成し、4カ月児健診等で配付する。
実施場所	中区内小・中学校、中区役所
実施時期	令和7年4月～令和8年3月
事業主体	中区役所中保健センター
事業効果	○多胎児や若年出産の保護者に保健センターが関わりをもち、同じ悩みをもつ保護者同士が交流することで子育ての悩みが軽減し、孤立化防止につながる。 ○いのちの大切さを伝えることで、自尊感情が高まり、望まない妊娠・人工妊娠中絶や飛び込み出産・虐待・いじめ・自殺の予防につながる。
活動指標	○いのちの大切さについて連携できた関係機関の数 ○対象者(多胎児や若年出産の保護者)のうち、電話や面接等を行った人の割合
備考	